

# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 1/ 10】

## 【外力条件】

1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

## 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

- ・ 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・ 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・ 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## 【留意事項】

- ・ 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・ 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・ 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・ 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・ この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

## 表示領域図

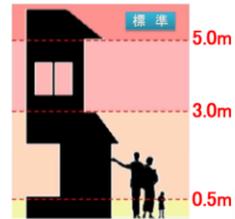


## 外力条件の設定



## (凡例) 最大浸水深

- |        |        |
|--------|--------|
| 20m以上  | 20m未満  |
| 10m以上  | 10m未満  |
| 5m以上   | 5m未満   |
| 3m以上   | 3m未満   |
| 0.5m以上 | 0.5m未満 |
| 0m以上   | 0.5m未満 |



縮尺 1:25,000



せたな町

島牧村

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【島牧村 1/10】

## 【外力条件】

1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

## 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

## 【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

## 表示領域図



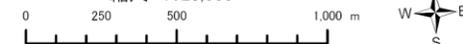
## 外力条件の設定



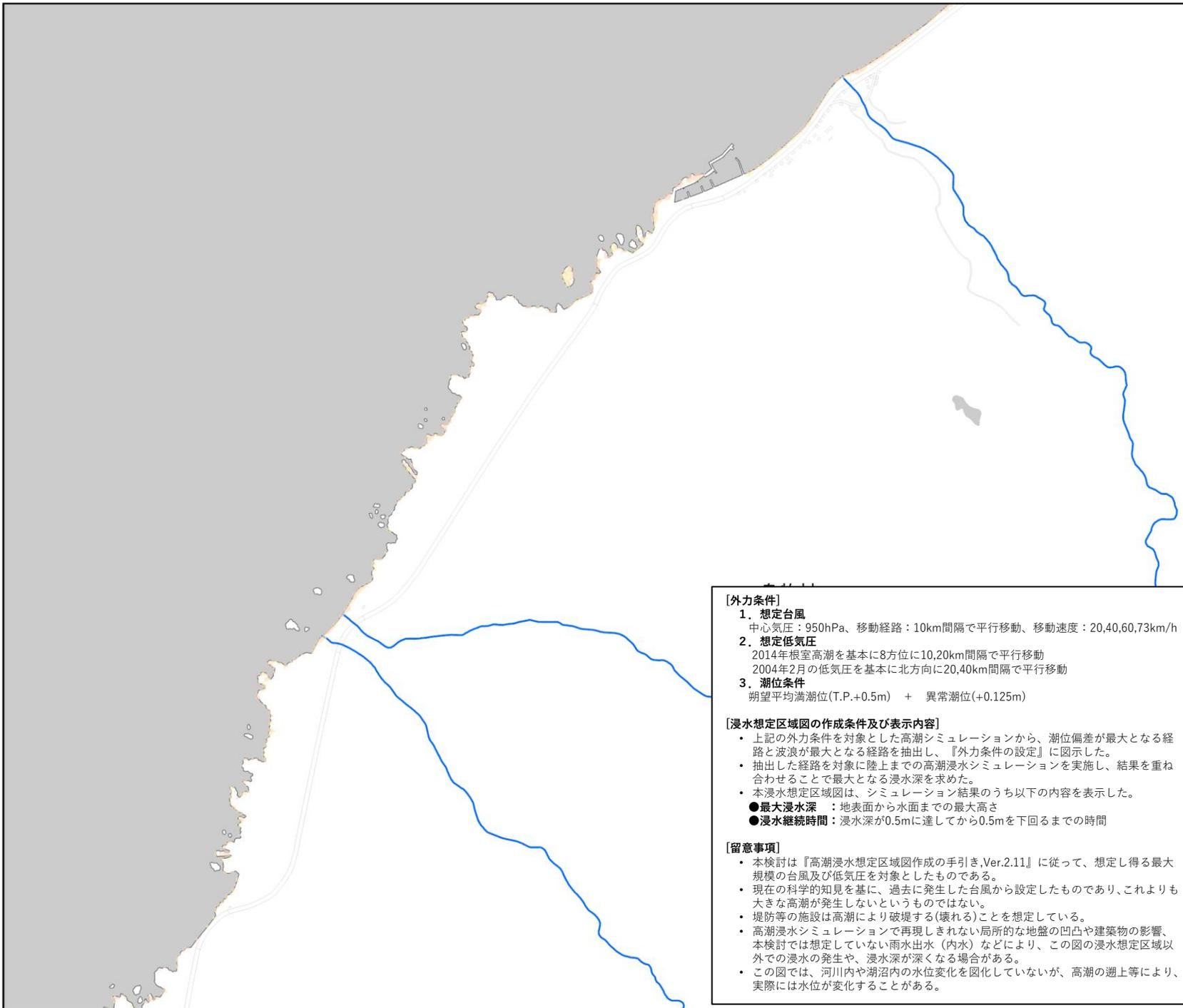
## (凡例) 浸水継続時間

- 0時間以上 12時間未満
- 12時間以上 24時間未満
- 1日以上 3日未満
- 3日以上 7日未満
- 7日以上 14日未満
- 14日以上 28日未満
- 28日以上

縮尺 1:25,000



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 2/ 10】



- 【外力条件】**
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
  - 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
  - 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

- 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- 【留意事項】**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
  - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
  - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
  - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
  - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

**(凡例) 最大浸水深**

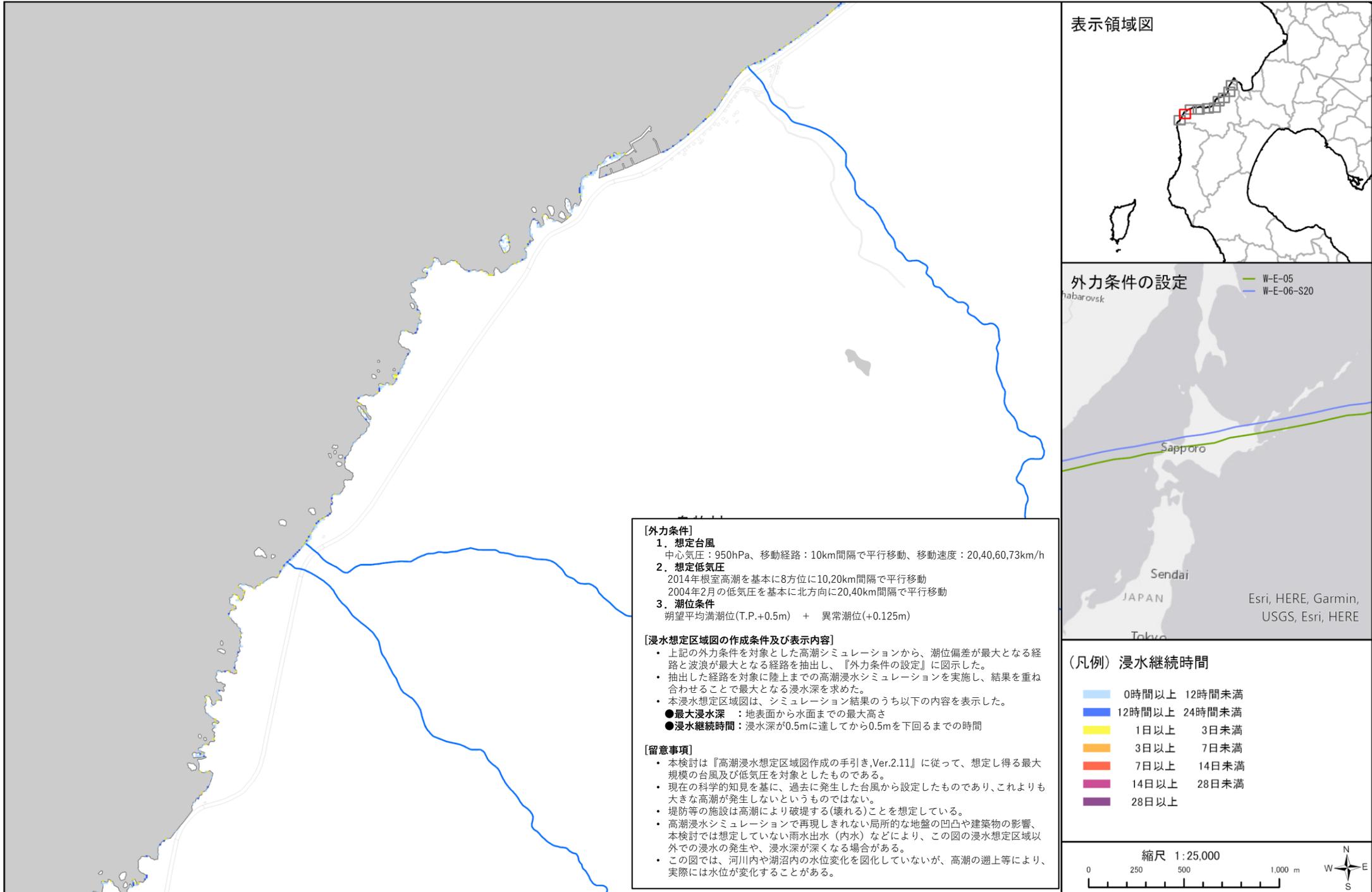
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
3m以上	3m未満
0.5m以上	0.5m未満
0m以上	0.5m未満

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m

W E N S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【島牧村 2/ 10】



**【外力条件】**

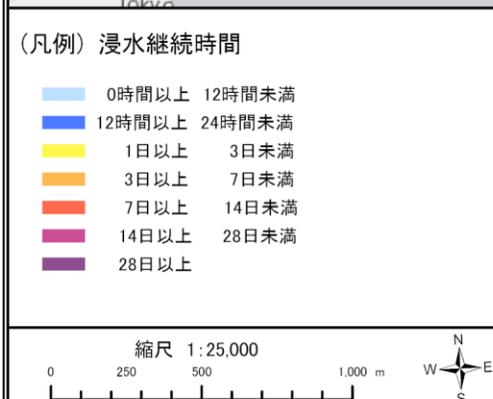
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

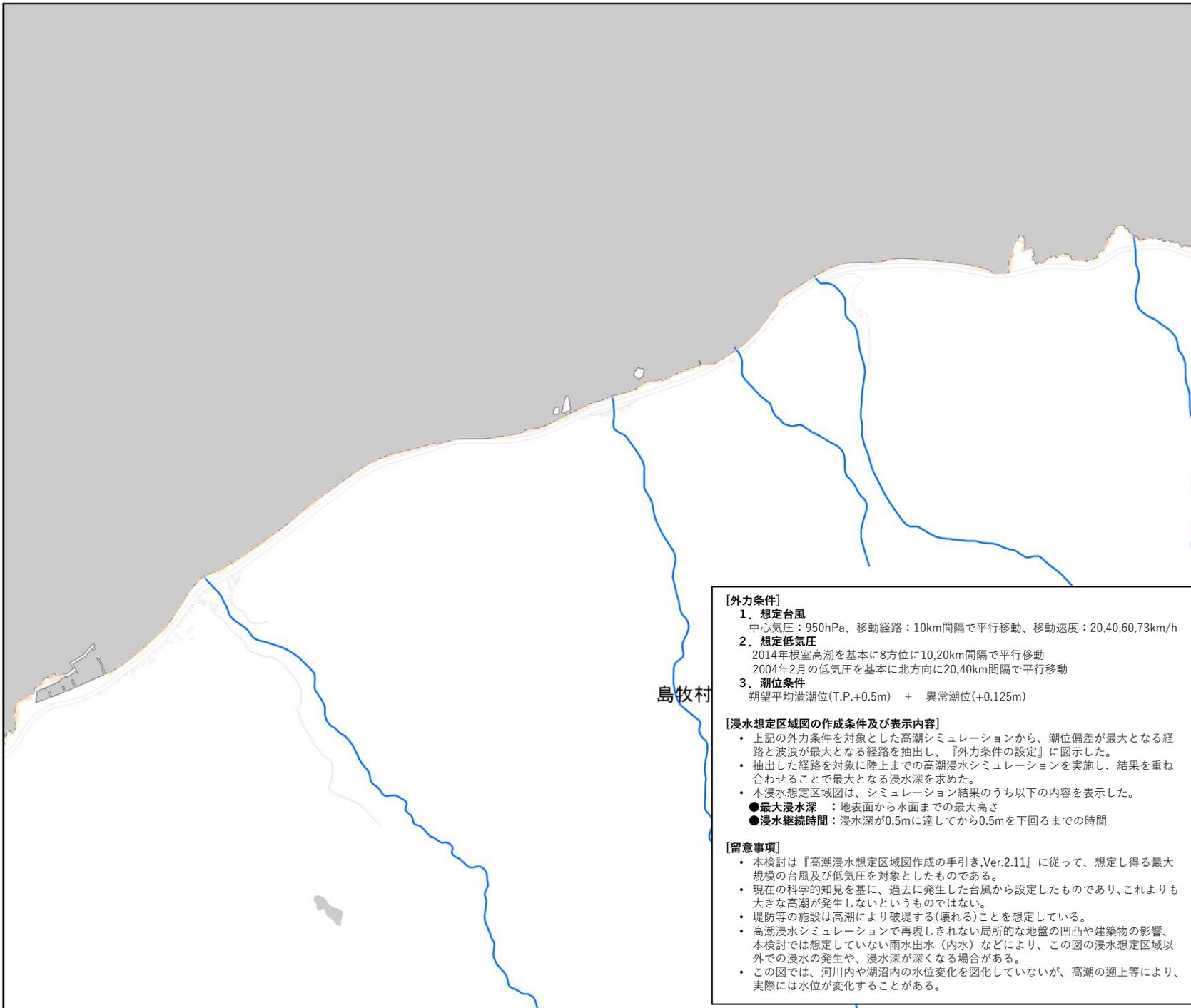
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 3/ 10】



**【外力条件】**

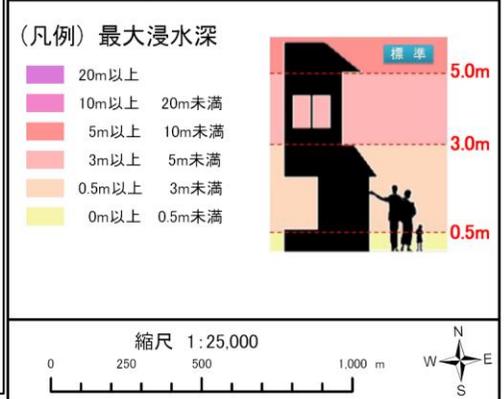
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

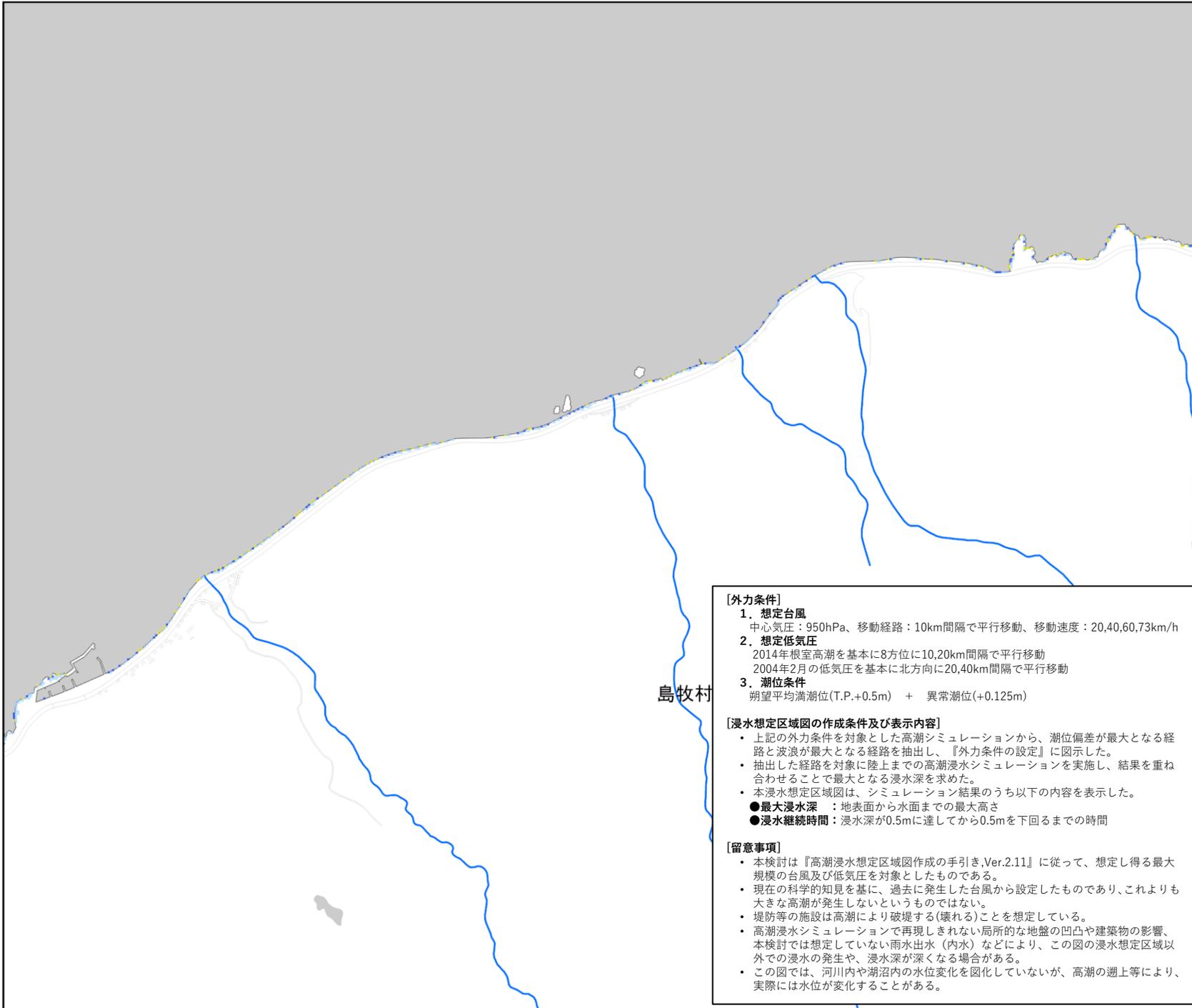
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【島牧村 3/ 10】



- [外力条件]**
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
  - 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
  - 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

- [浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

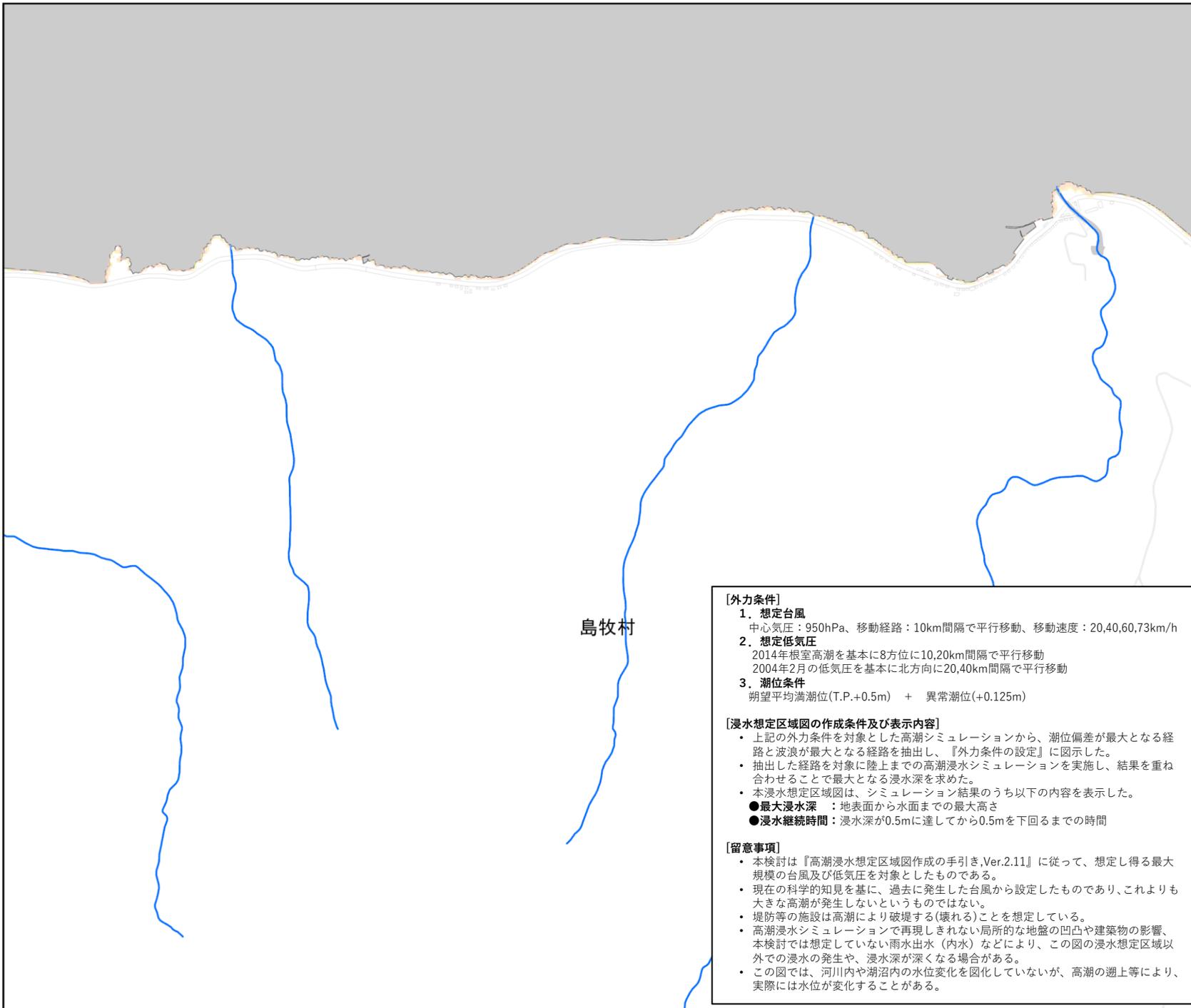
- [留意事項]**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
  - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
  - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
  - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
  - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

**(凡例) 浸水継続時間**

0時間以上 12時間未満
12時間以上 24時間未満
1日以上 3日未満
3日以上 7日未満
7日以上 14日未満
14日以上 28日未満
28日以上

縮尺 1:25,000

# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 4/ 10】



**【外力条件】**

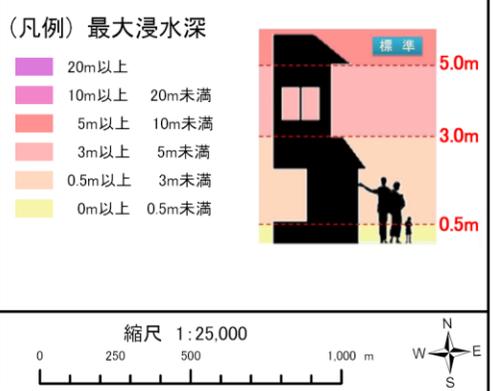
- 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

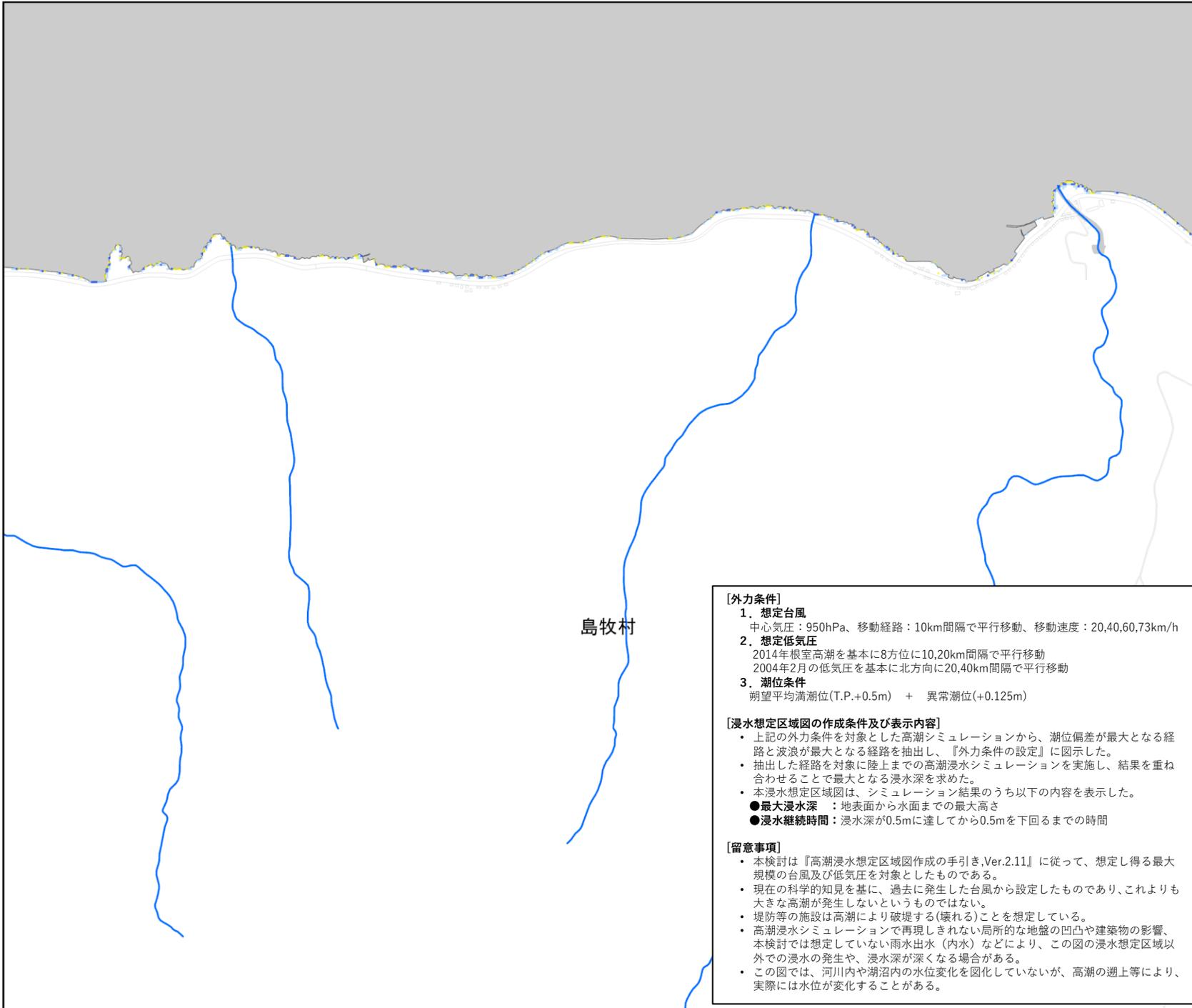
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【島牧村 4/ 10】



**【外力条件】**

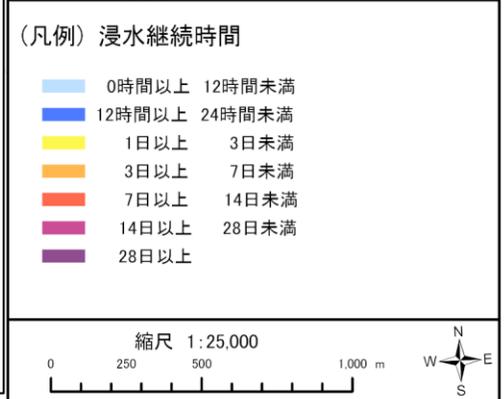
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 5/ 10】



島牧村

### 【外力条件】

1. 想定台風  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
2. 想定低気圧  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
3. 潮位条件  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

### 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

### 【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

### 表示領域図



### 外力条件の設定

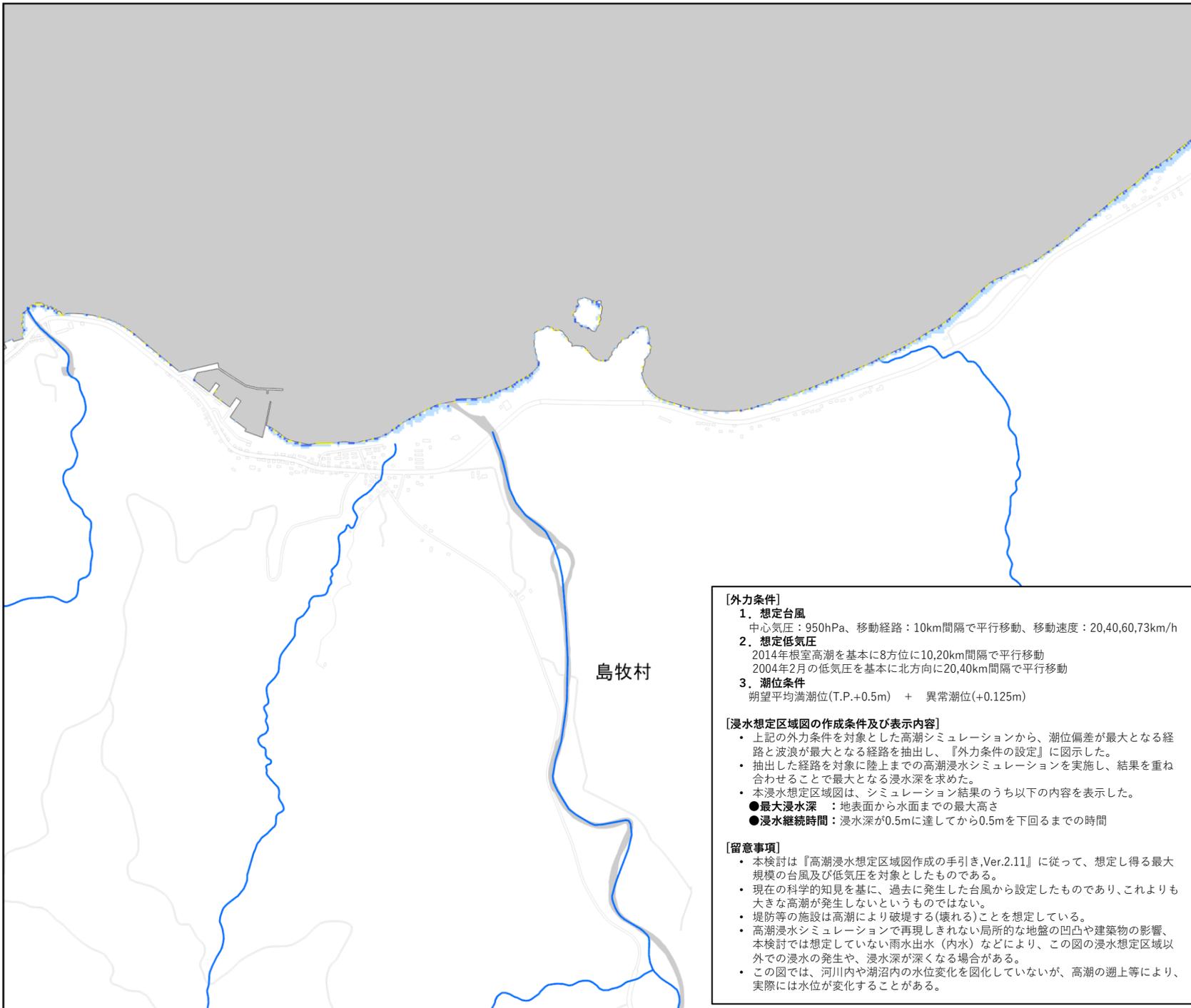


### (凡例) 最大浸水深

- 20m以上
- 10m以上 20m未満
- 5m以上 10m未満
- 3m以上 5m未満
- 0.5m以上 3m未満
- 0m以上 0.5m未満



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【島牧村 5/ 10】



- 【外力条件】**
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
  - 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
  - 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

- 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

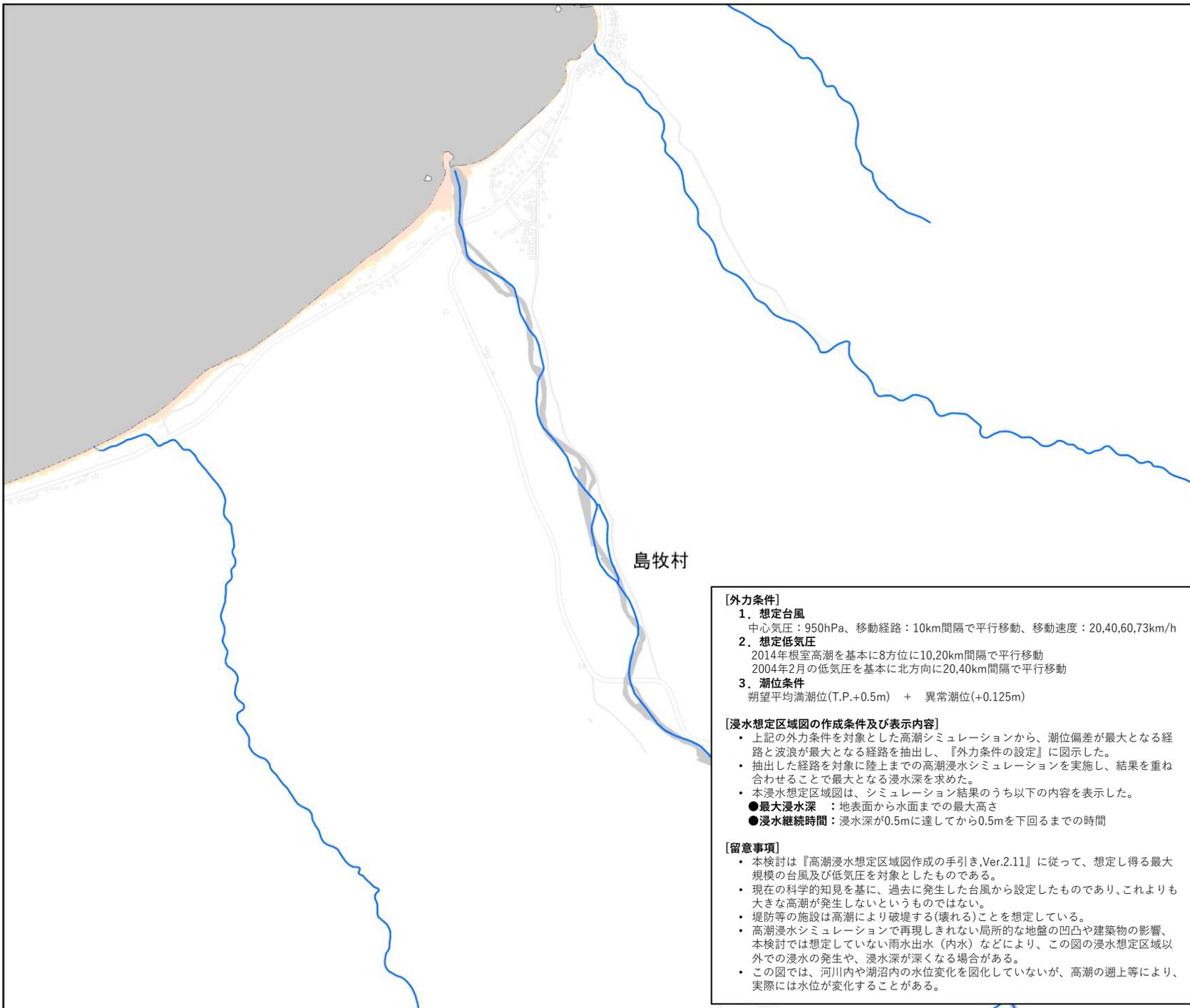
- 【留意事項】**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
  - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
  - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
  - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
  - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

**(凡例) 浸水継続時間**

0時間以上 12時間未満
12時間以上 24時間未満
1日以上 3日未満
3日以上 7日未満
7日以上 14日未満
14日以上 28日未満
28日以上

縮尺 1:25,000

# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 6/ 10】



**【外力条件】**

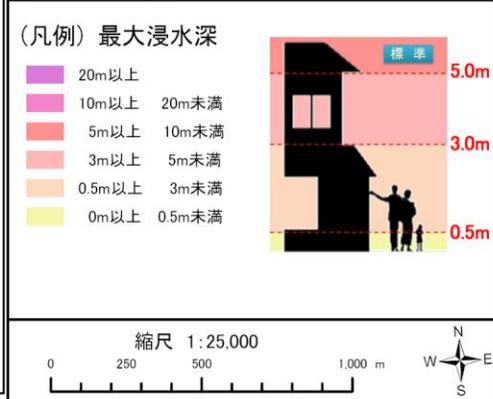
- 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

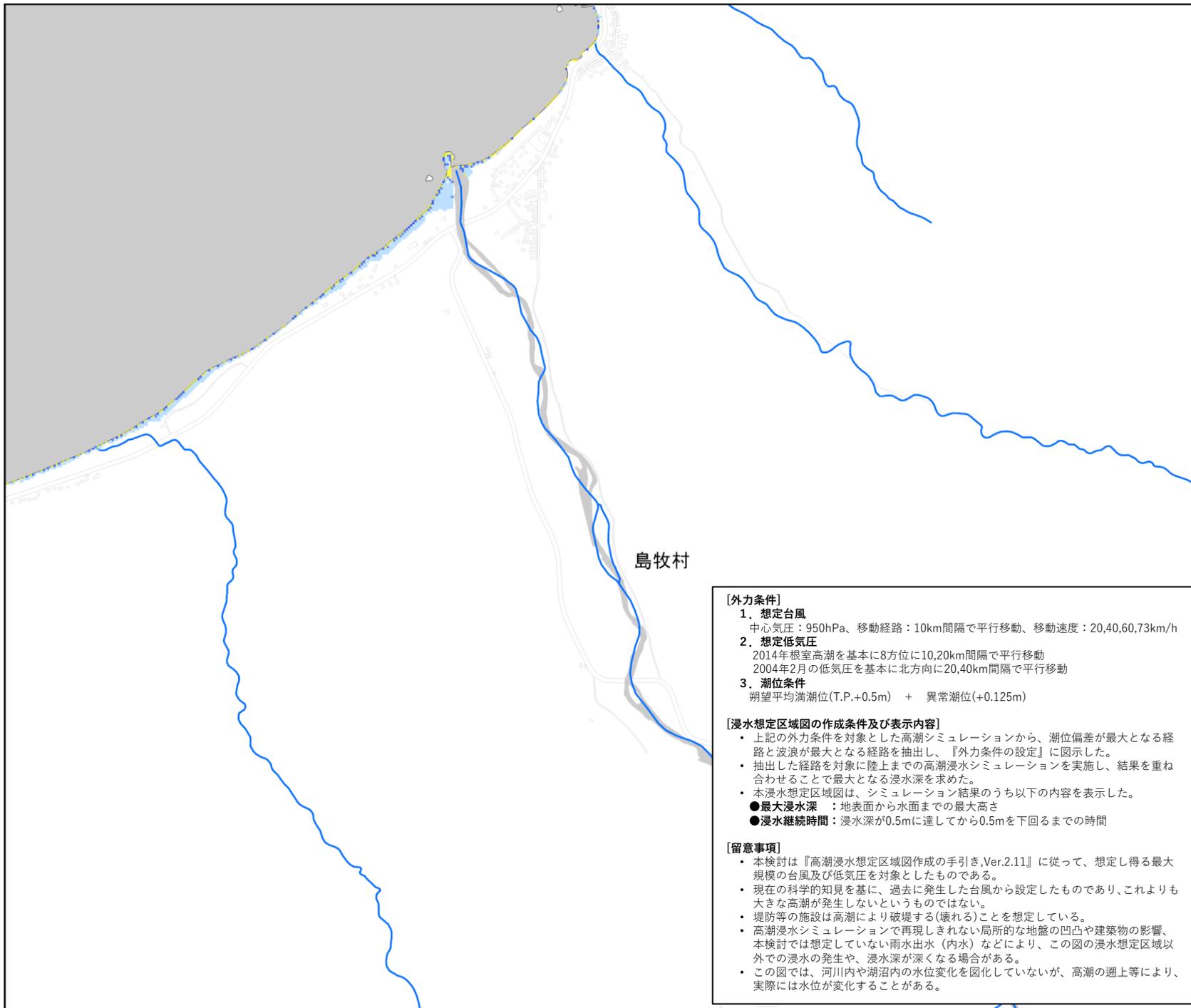
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【島牧村 6/ 10】



**[外力条件]**

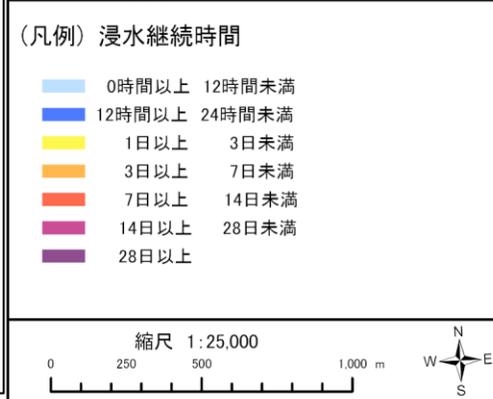
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**[浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**

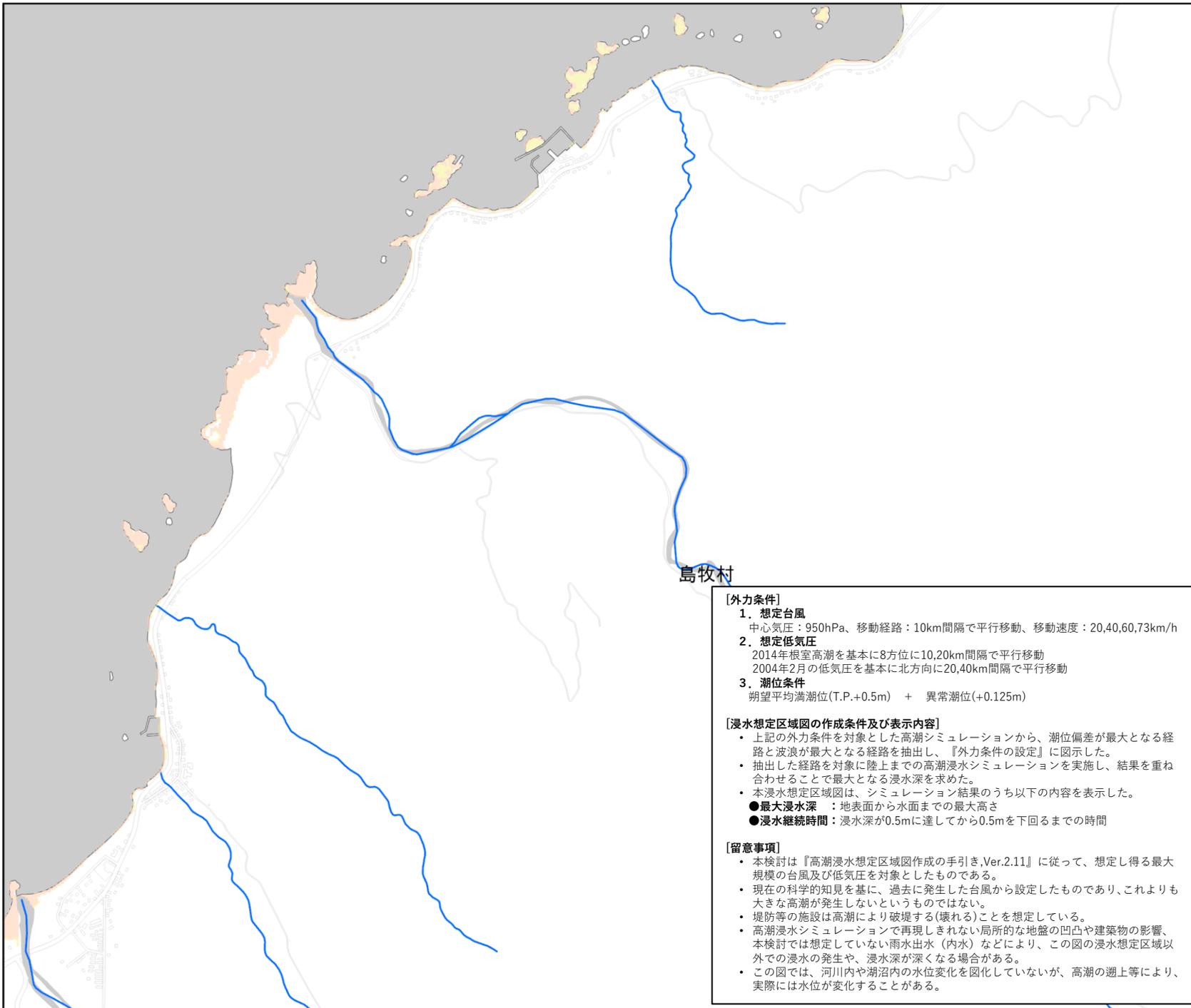
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**[留意事項]**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 7/ 10】



**【外力条件】**

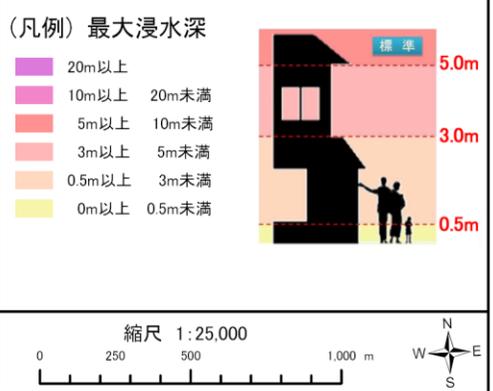
- 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

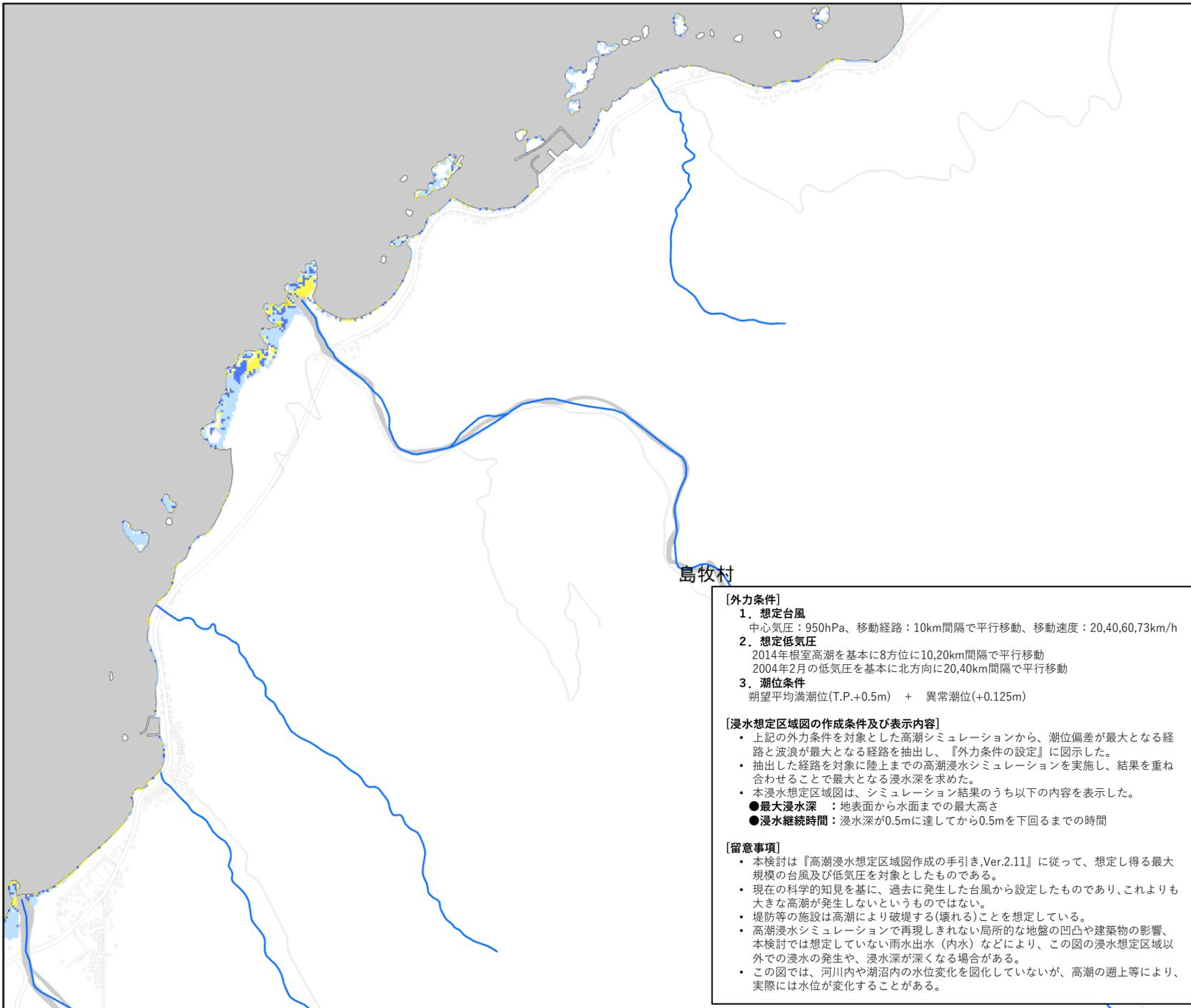
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【島牧村 7/ 10】



**【外力条件】**

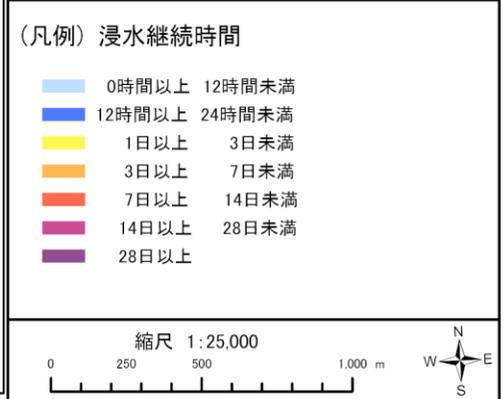
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

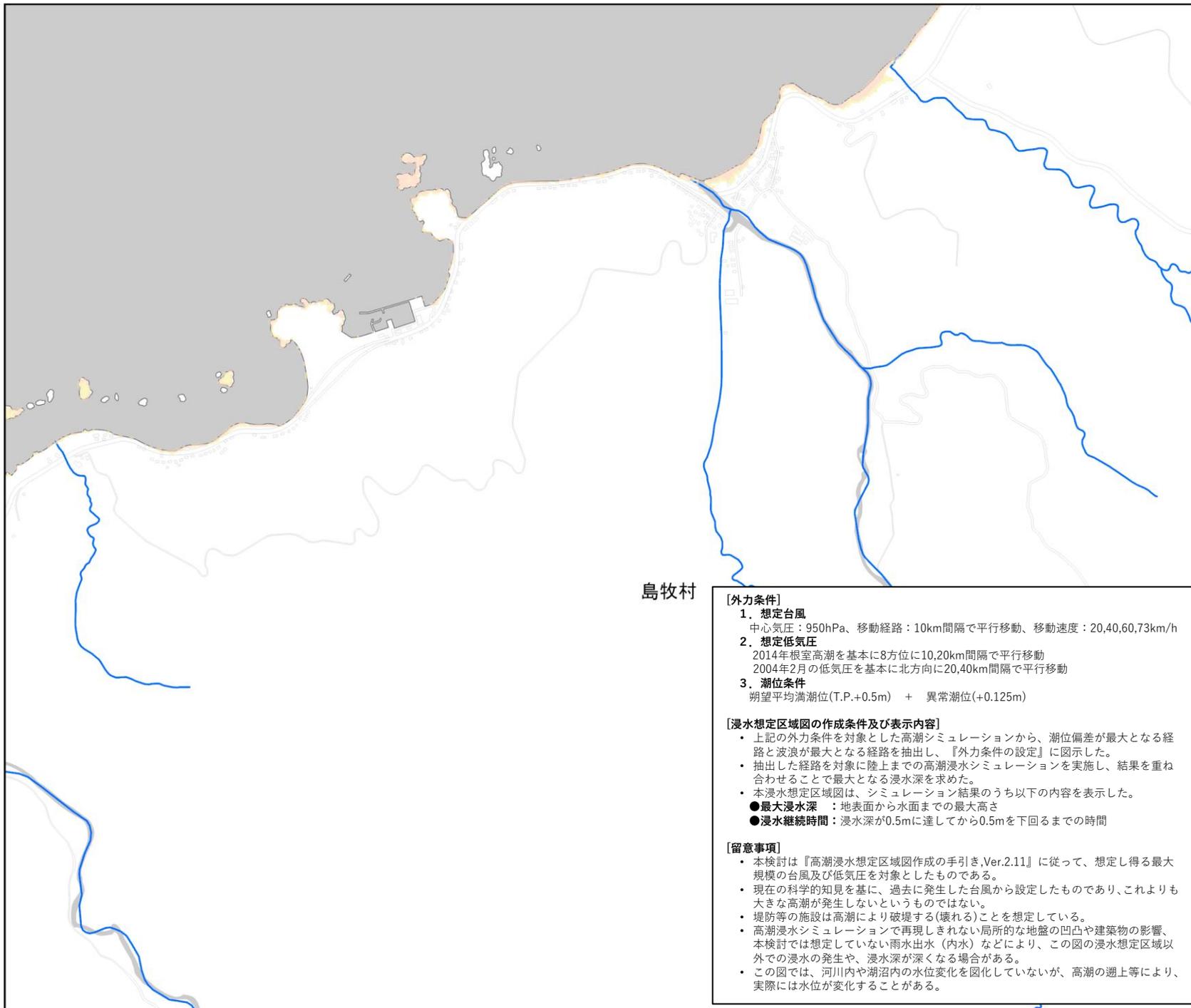
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 8/ 10】



島牧村

- 【外力条件】**
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
  - 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
  - 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

- 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- 【留意事項】**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
  - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
  - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
  - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
  - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

**(凡例) 最大浸水深**

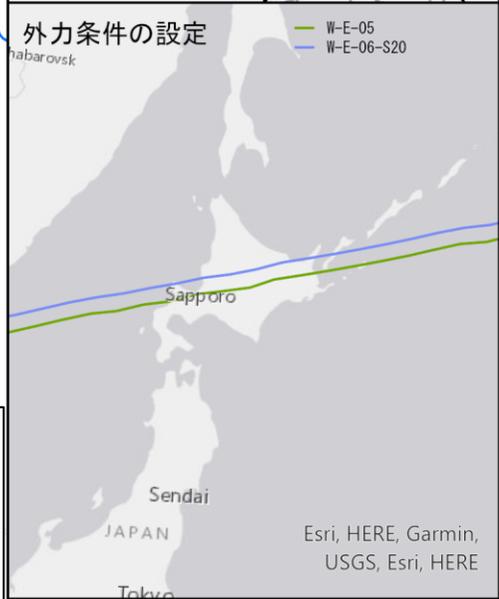
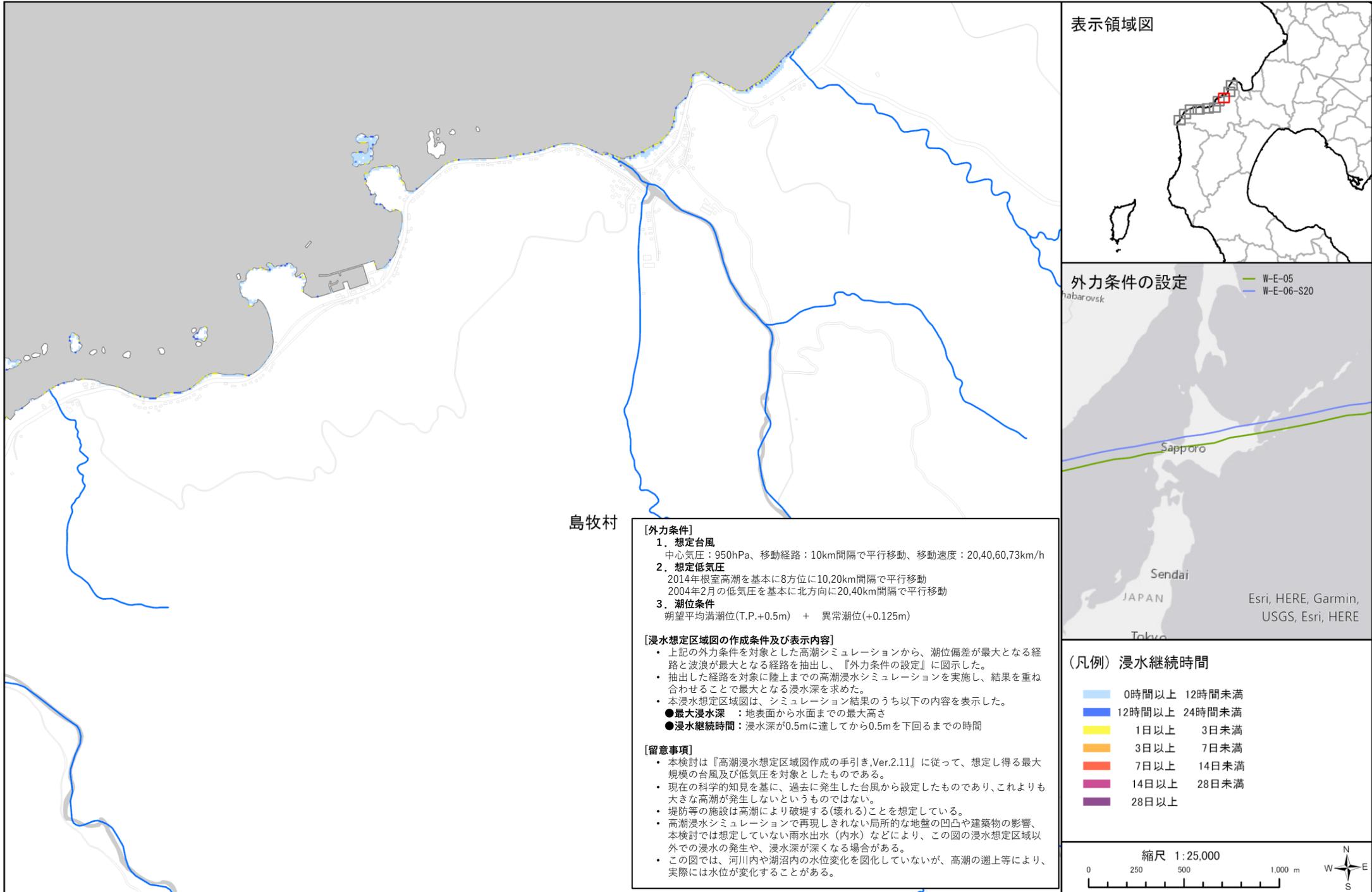
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
3m以上	3m未満
0.5m以上	0.5m未満
0m以上	0.5m未満

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m

W E N S

# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【島牧村 8/10】



島牧村

- 【外力条件】**
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
  - 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
  - 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

- 【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
  - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
  - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

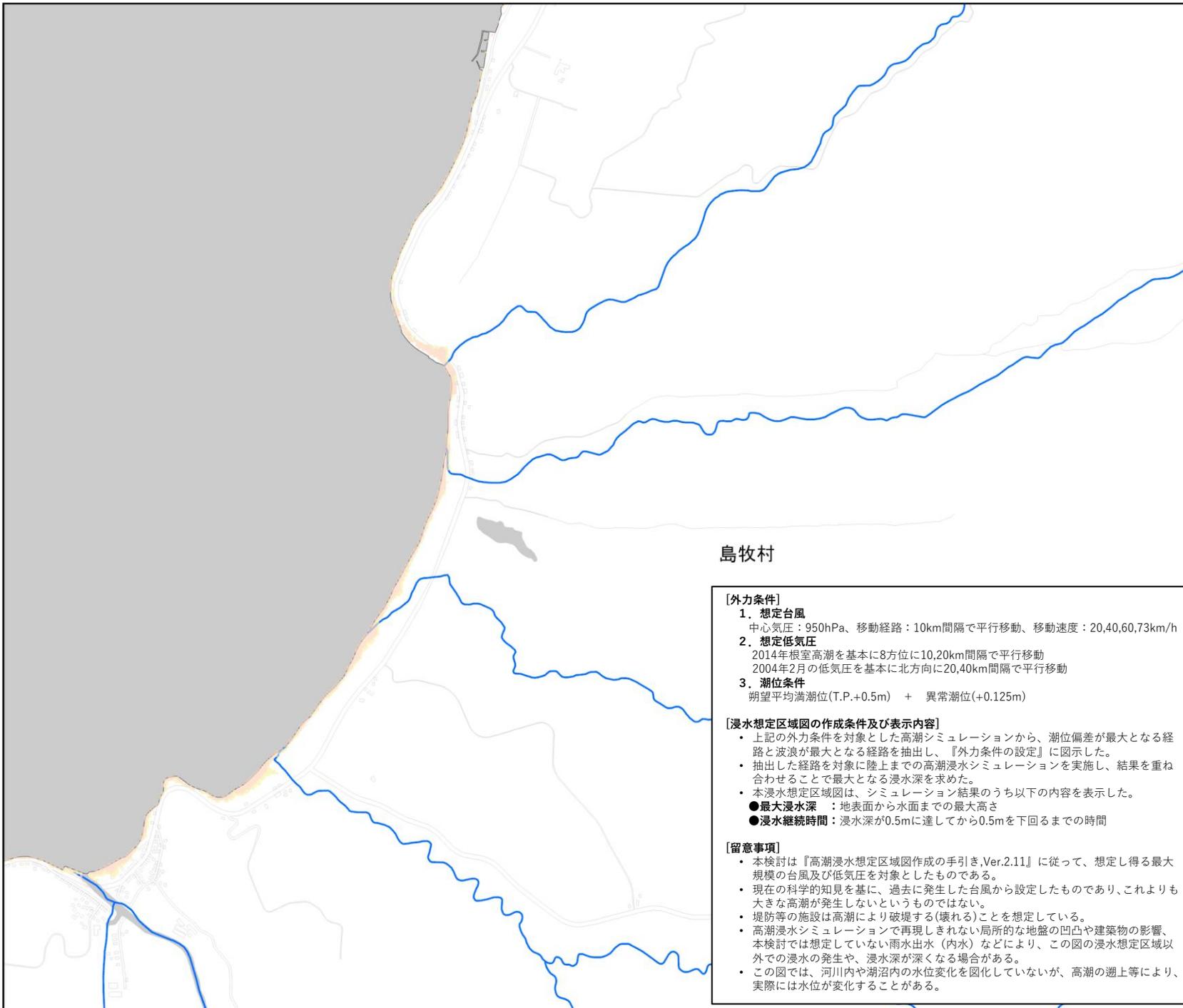
- 【留意事項】**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
  - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
  - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
  - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
  - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

**(凡例) 浸水継続時間**

0時間以上 12時間未満
12時間以上 24時間未満
1日以上 3日未満
3日以上 7日未満
7日以上 14日未満
14日以上 28日未満
28日以上

縮尺 1:25,000

# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 9/ 10】



島牧村

**【外力条件】**

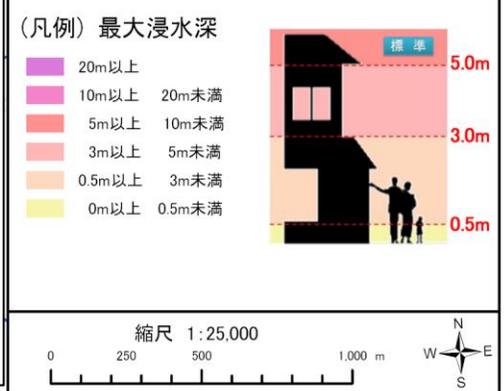
- 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

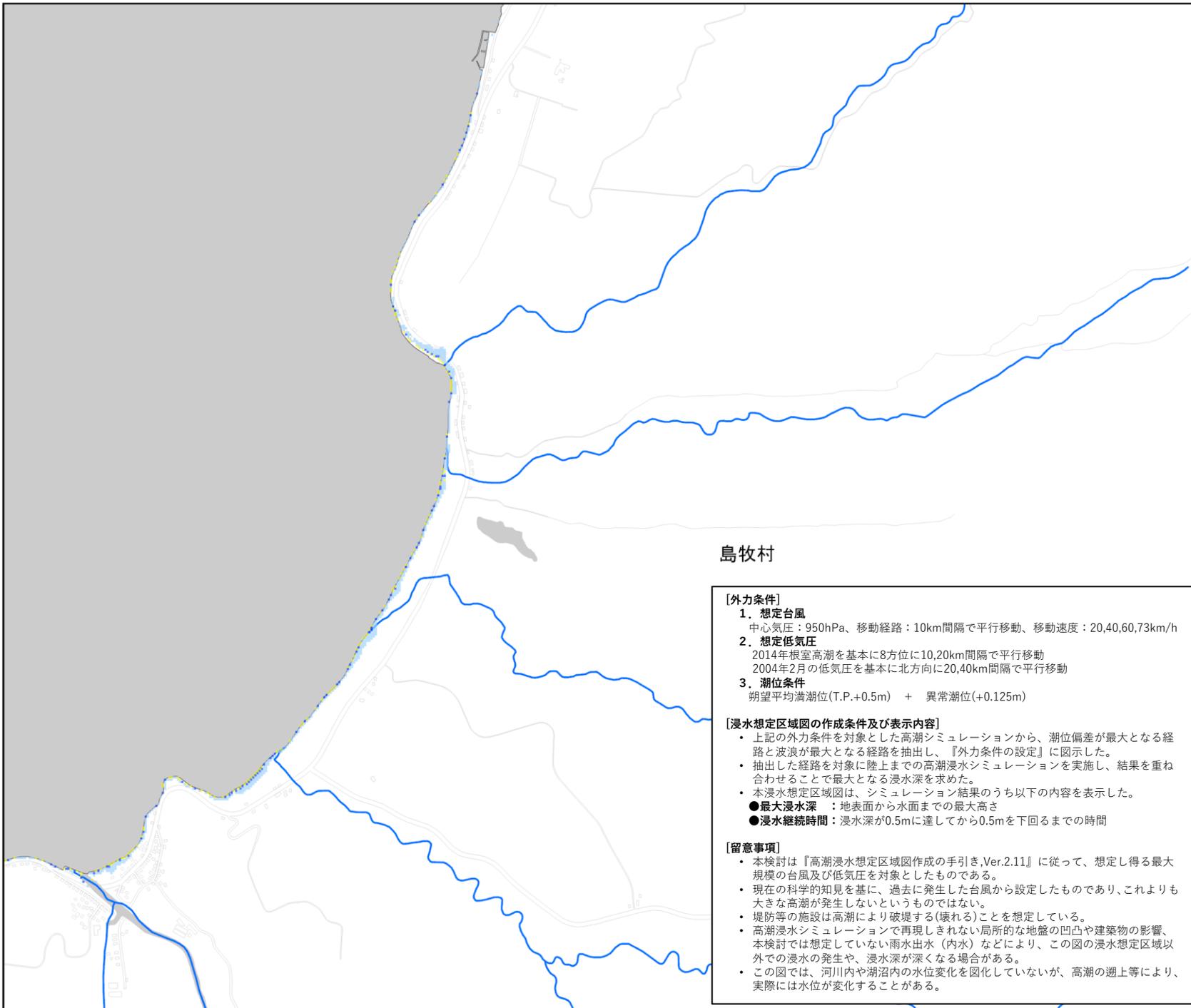
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【島牧村 9/ 10】



島牧村

**【外力条件】**

- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
- 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



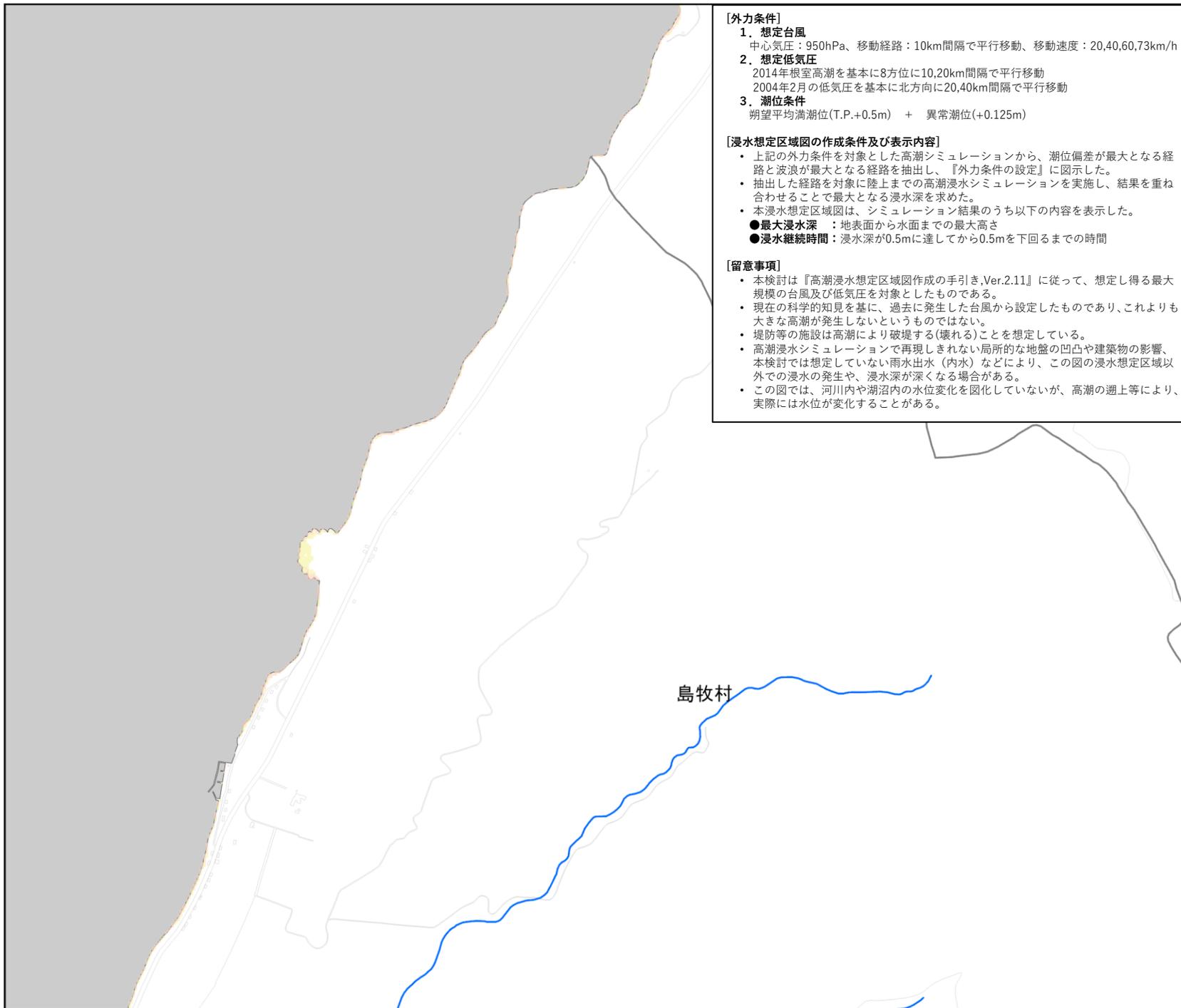
**(凡例) 浸水継続時間**

Light Blue	0時間以上 12時間未満
Blue	12時間以上 24時間未満
Yellow	1日以上 3日未満
Orange	3日以上 7日未満
Red	7日以上 14日未満
Pink	14日以上 28日未満
Purple	28日以上

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m

# 高潮浸水想定区域図（浸水深）【島牧村 10/ 10】



**【外力条件】**

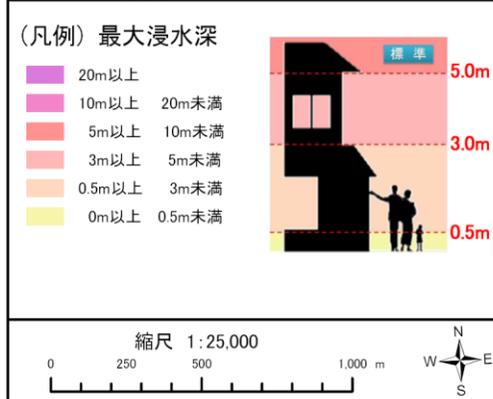
- 1. 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

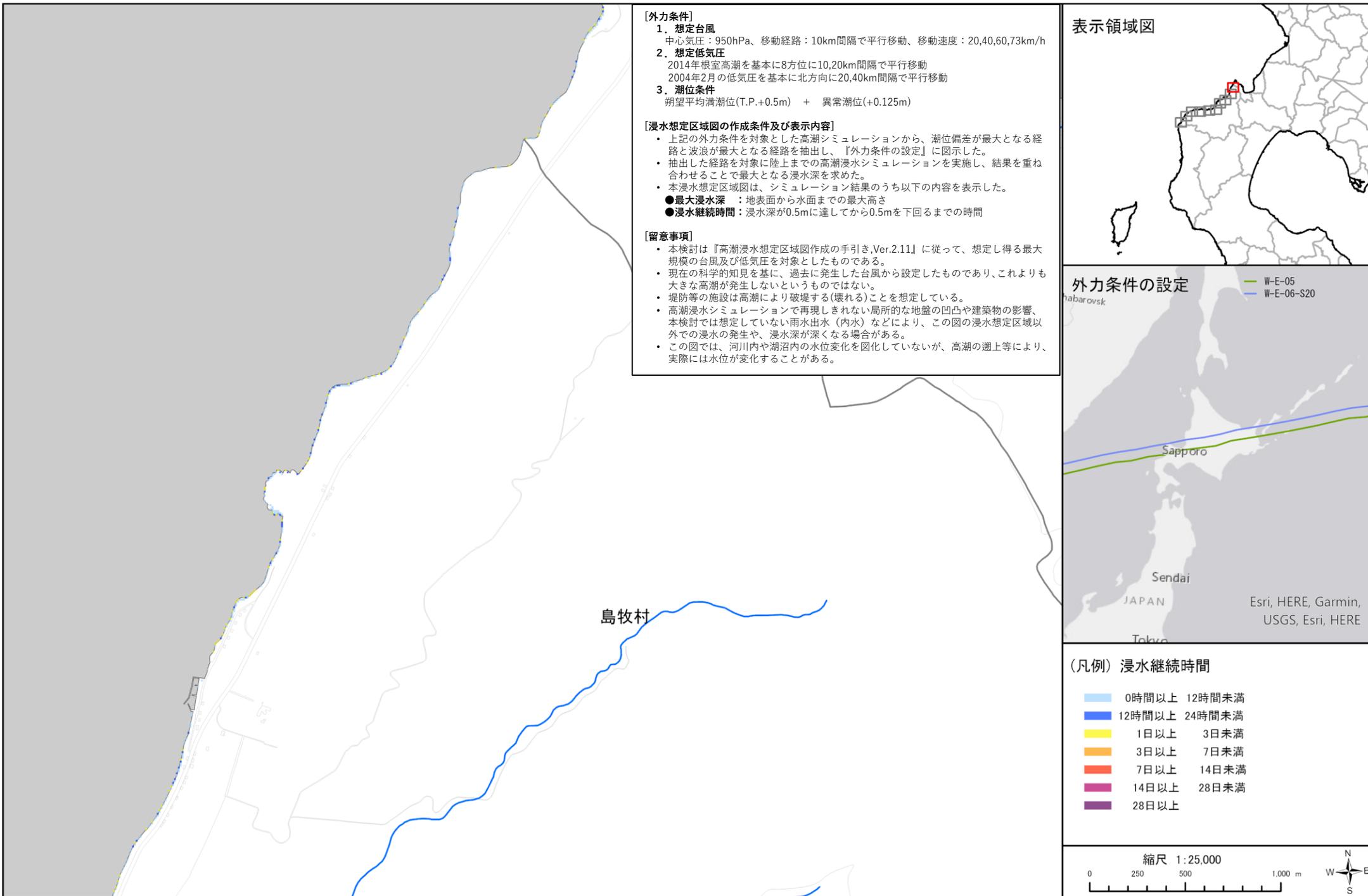
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



# 高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【島牧村 10/ 10】



**【外力条件】**

- 想定台風**  
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 想定低気圧**  
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動  
2004年2月の低気圧を基本に北方向に20,40km間隔で平行移動
- 潮位条件**  
朔望平均満潮位(T.P.+0.5m) + 異常潮位(+0.125m)

**【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】**

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
  - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

**【留意事項】**

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

